

講座

こころの友伝道入門シリーズ14



「こころの友伝道の特色」



日本キリスト教団
伊豆高原教会（静岡）

すどう しげる
信徒 **須藤 繁**

（こころの友伝道全国連合副会長）

「こころの友伝道とは、牧師とこころの友伝道奉仕者（信徒）がチームを組んで、教会を訪れた求道者のこころの友となり、受洗に至るまで責任をもって導く伝道奉仕です。」

日本の教会は、講演会、コンサート、テレビ、ラジオ、最近ではSNSまで多種多様な方法を用いて伝道を展開していますが、これらは主として一般市民を対象とし、まずは教会の礼拝への出席勧誘を目的に行われます。そのため、思い切って教会へ足を運んでくださった求道者を受洗にまで導くための受け入れ態勢については、十分な準備がなされていませ

ん。その結果、残念ながらせっかく教会を訪れた求道者が教会の中で孤立したり、信仰を誤解したり、あるいは人間関係につまずいたりして教会を離れてしまうようなことが極めて多いのです。そこで、**こころの友伝道は、まずその伝道の対象を「求道者」に絞り込み、伝道の目的を明確に「求道者の受洗」としました。これが特色の第1です。**

もともと、初めて教会の扉をたたく方々は、キリスト教に対して様々な不安や戸惑いを持っています。ですから、教会として求道者の受洗を望むなら、礼拝出席を確実に続けられるよう配慮するだけでなく、求道者の揺れ動く心を的確に把握し、その方がキリストに出会うまで、あきらめず継続して寄り添い、働きかける努力がどうしても必要です。この役割は、今まで主に牧師あるいはベテラン信徒などが担ってきました。しかし、牧師は必ずしもカウ